

2 社会の要請に応える体験活動等事業
イ 青少年を対象に体験活動を通じた自己成長や自己実現等を図る事業

令和7年度 国立諫早青少年自然の家 教育事業

「いさはやマルチスポーツ体験キャンプ2025」

 公益財団法人スポーツ安全協会
For Fun Sports & Cultural Activities



当事業は スポーツ安全協会 スポーツ普及奨励助成事業の助成を受けて実施しています

- 〔主 催〕 国立諫早青少年自然の家
〔期 日〕 令和7年10月25日（土）～10月26日（日） 1泊2日
〔活動場所〕 国立諫早青少年自然の家
〔参加者〕 小学3年生～6年生（3年生29名、4年生29名、5、6年生28名）
児童86名（男子41名、女子45名）
〔担当職員〕 中里 文彦、高山 雄也、日高 由樹
〔外部講師等〕 長崎県フェンシング協会19名（指導者5名、高校生スタッフ14名）
長崎県アーチェリー協会23名（指導者4名、高校生スタッフ19名）
長崎ヴェルカ3名（指導者3名）

1) 事業の趣旨

複数のスポーツを体験することにより、子どもたちが興味をもてるスポーツとの「出会い」を創出し、バランスのよい身体づくりや動きを実感する機会を提供します。

2) SDGs で目指す姿

 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>目標4 質の高い教育をみんなに 仲間と協力する活動を通して、安心・安全な学習環境作りの指導方法を学びます。</p> <p>目標16 平和と公正をすべての人に 仲間と協力する活動を通して、参加型の意思決定を支援する指導方法を学びます。</p>
--	--	---

3) 目標

- ①みんなでスポーツとの出会いを楽しもう！
②さ・い・ふ・あっ・た：参加する・一生懸命・フェア（公平、公正）・安心、安全・楽しむ

4) 研修プログラム

1日目(10月25日)		2日目(10月26日)	
9:30	受付	6:30	起床
10:00	開講式、オリエンテーション①	7:15	朝のつどい
10:15	I-CAP ～仲間づくりの活動～【写真1】	7:30	朝食(レストラン)
11:45	昼食(レストラン)		～宿泊荷物整理、清掃～
13:00	スポーツ体験①(2.0h)【写真2.3.4】	9:30	スポーツ体験②(2.0h)
15:15	写真撮影→オリエンテーション②	11:45	昼食(レストラン)
16:30	ストレッチ&上手な体の動かし方など 【写真5】	13:00	スポーツ体験③(2.0h)
18:00	夕食(レストラン)	15:30	閉講式
19:15	レクリエーション	15:45	ふり返り【写真6】
20:15	入浴→ふり返り	16:00	解散
21:30	就寝準備→就寝		

5) 事業展開

【写真1】 I-CAP



3年生、4年生、5・6年生の3つのグループに分かれ、仲間づくりの活動やチームビルディングに取り組むことで、徐々に緊張がほぐれ、初めてあった人とも仲良くなることができました。

【写真3】 アーチェリー



子ども用の弓を使って基本動作を繰り返し練習した後に、約束事を守りながら本物の弓矢を使って、2～3m離れた的を目掛けて矢を放つと、「よし!」「ねらったところにいった!」「楽しい!」との声を多く聞くことができました。

【写真5】 ストレッチ、上手な体の動かし方



アーチェリーでは、「左右非対称の体操」、バスケットボールでは、「ボールを使った体操」、フェンシングでは、「反射トレーニング」などを行いました。

【写真2】 フェンシング



試合(高校生や指導者)を実際に見たり、プラスチックの剣や防具を使って動作を真似たり、剣で紙風船を狙ったりしながら、楽しそうに取り組む姿が印象的でした。

【写真4】 バスケットボール



コーチのお手本を見ながら、ドリブルやパス、シュートなどの練習を行ったり、ボールゲームに取り組んだりしました。ミニゲームでは、声をかけ合い、シュートが入った時は、ハイタッチをするなど楽しむことができました。

【写真6】 記念撮影



みんなで「諫早青少年自然のいえ〜い」の号令に合わせてポーズを取り、笑顔で記念撮影をすることができました。

6) 評価

① アンケート結果（事業全体に対する満足度）

満足	やや満足	やや不満	不満
86%	13%	1%	0%

② 参加者の声

- ・バスケットボールやアーチェリー、フェンシングは、新たなことができたからワクワクしました。
- ・最初は不安だったけど、とても楽しくて、また来たいと思いました。
- ・人とのコミュニケーションやスポーツの楽しさを知ることができて、スポーツをがんばろうと思いました。
- ・バスケットボールが楽しかったので、バスケットボールを始めてかんばりたいと思いました。
- ・アーチェリーが一番楽しかったので、アーチェリーを習おうと思いました。
- ・友だちがいっぱいできて、フェンシングが楽しかったです。
- ・スポーツには、仲間づくりや協力したりして楽しむことが大事だと思いました。
- ・ボランティアの人たちやスタッフの人たちみんなが優しく話しやすかったです。
- ・初めて会ったはずなのに、話しかけてくれたり、いっしょに協力したりすることができたので、楽しかったです。
- ・みんな全力でやれば、初めてのことでも楽しくなるということが分かりました。

7) 成果と課題

① 成果

- ・75名の募集定員に対して、180名の応募があった。スポーツ団体やボランティアスタッフの協力もあり、75名から90名へ定員を増員して実施することができました。
- ・スポーツ団体（バスケットボール、フェンシング、アーチェリー）との連携協力体制が構築でき、指導者やサポートスタッフが充実して、参加者が満足しスポーツ体験キャンプに参加することができました。参加者や保護者アンケートでは、満足度が高く、「来年も参加したい」「参加させたい」という意見が多くありました。
- ・宿泊部屋や食事などの班を3～6年生の縦割りにすることで、先輩がリーダーシップを取って、約束事を守って行動することができていました。
- ・前年度の「スポーツ体験の時間が長くて、後半集中力が続かないことがあった」との反省から、スポーツ体験時間を2.5h→2.0hに変更して実施することで、活動に集中したり休憩時間も取ったりすることができ、参加者や指導、スタッフにも好評でした。
- ・前年度に引き続き、新しい友だちづくりや複数のスポーツ体験ができる場を提供したり、バランスのとれた体づくり（きっかけづくり）をしたりすることができました。

② 課題

- ・定員を90名に増員しましたが、直前1か月以内の家庭の都合でのキャンセルが多かったです。その都度参加者を補充しながら86名（4名体調不良などで不参加）を確保できましたが、次年度は、スケジュールやキャンセル規定などを確認して申込みように案内（チラシやホームページに注意事項を記載）していきたいです。
- ・1班30名の3班（3年生、4年生、5・6年生）で実施したが、活動によっては少し手狭になることがあったので、25名程度の実施ができれば、活動スペースにさらに余裕ができそうです。